

OSのサポート終了への対応。 2014年4月8日に迫るWindows XPの「サポート終了」とは？

2001年10月の登場から10年が経過し、その間実に3億5000万本を販売したWindows XP。いまだに最前線で頑張っているさなかに飛び込んできた「サポート終了」のニュースにみなさん驚かれたことと思います。

2014年4月8日といいますから、残り2年を切っているわけですが、それでは「サポート終了」になると普段使っているPCはどうなるの？ 使えなくなるの？という疑問をまずは解消していきます。

サポートは実はすでに終了していた！？ 「メインストリームサポート」とは。

マイクロソフト社が提供するOSには、2種類のサポート期間が存在します。ひとつは「メインストリームサポート」、もうひとつは「延長サポート」です。今回終了することが騒がれているのは、実は後者の「延長サポート」。ということは……そう、「メインストリームサポート」は、2009年4月14日をもってすでに終了しているのです。では、「メインストリームサポート」とは、我々に何を提供してくれていたのかを見ていきます。

「メインストリームサポート」の果たす役目を簡単に説明しますと大きく3つあります。①仕様変更、新機能リクエストの受付、②セキュリティ更新・その他修正プログラムの提供、③無償・有償サポートの提供です。このうち①、②は、「Windows Update」により提供され、ファイルの数が多くなると「サービスパック」という形でまとめて提供するなどしていました。ちなみにWindows XPでは、2008年4月にリリースされた「SP（サービスパック）3」が最新（32bit版の場合。64bit版ではSP2まで）。思い返してみれば、最近、サービスパックの名前を聞かなくなったことにお気づきのことと思います。

サポートフェーズごとの提供内容

「Windows XP および、Office 2003 のサポート終了についてのご案内」より
<http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/lifecycle/sp3eos.aspx>

| | メインストリームサポート (全製品) | 延長サポート (ビジネス用ソフトウェアのみ) |
|---|-----------------------|-----------------------------|
| セキュリティ更新プログラムサポート | ○ (あり) | ○ (あり) |
| 有償サポート (インシデントサポート、時間制サポート) | ○ (あり) | ○ (あり) |
| 無償サポートライセンス、 ライセンスプログラムおよび、 その他の無償サポートを含む | ○ (あり) | × (なし) |
| 仕様変更、新機能のリクエスト | ○ (あり) | × (なし) |
| セキュリティ関連以外の修正プログラム の作成の新規リクエスト | ○ (あり) | ※「延長修正プログラム サポート契約」が必要となります |

「延長サポート」は企業・開発者向け

さて、それでは「延長サポート」とはどういったものでしょう。本来、ビジネス向け・開発者向けに提供されるものですが、Windows XPに限っては、家庭向けであるHome Editionも対象になったことがニュースになりました。その内容は、①セキュリティ更新プログラムの提供、②有償サポートの提供となります。つまり、OSにまつわるセキュリティホールの類については適宜対応されるわけですから、日常業務への支障はほぼないと言えるでしょう。最新のアプリケーションを駆使して、新しい機能の恩恵を十分に受けたいというようにWindows XPそのものに不都合を感じることがない限り、「延長サポート」の期間であれば安心して使い続けることが可能だと言えます。

ただし、よくご利用のウェブサイトが、Windows XPで利用可能なブラウザをサポートしなくなる日が早々に来ることは、想像に難くありませんが。

現在利用中のWindows XP端末はまだ使える。でも……。

お手元のPCが自治体や企業から貸与されているPCであるとし、おそらく、グループウェアやその他の業務アプリケーションを動作させるために必要な環境は整っていますから、ブラウザのバージョンが古くても（IE6など）問題にはなりません。むしろ、これらのアプリケーションのバージョンが上がるまで据え置かれるはずですし、セキュリティ更新さえ実施されていれば実務上では問題にならないことが多いのではないのでしょうか。

では、「延長サポート」が終了すると何が問題になるのでしょうか。前述のようにセキュリティに関する更新プログラムの提供がなくなります。次いで、ウイルス対策プログラムの提供会社（シマンテック、トレンドマイクロ等）から、ウイルス定義ファイルの更新が止まります。正確には、「Windows XPに対応したウイルス対策プログラム用の更新ファイルの提供」が止まります。つまり、ウイルスなどのセキュリティ面での脅威に対して完全に無防備な状態になってしまうのです。もちろん、すべてにおいてノーガードというわけではありませんが、このタイミングを狙った新たなウイルスが出現しないとも限りません。この時点では、新しいPC（またはOS）をご用意いただくか、ネットワークから隔離された静かな環境に身を置いてみる必要が出てきそうです……。